

文化団体紹介

新十津川町文化協会に加盟する団体を紹介します。

今月号は郷土史研究会です。最後の紹介団体になります。

郷土史研究会

団体概要

新十津川町史の作成の中で、調査と研究の必要が生じてきたため、昭和39年に設立されました。活動休止を経て、昭和54年に活動を再開し、現在会員6人が在籍しています。

道史と町史

北海道の歴史が、大きく動き出すのは明治の開拓期以降です。この動きの中で明治23年に新十津川

が誕生します。明治30年の道内人口は79万人でしたが、昭和2年には247万人と約3倍になります。しかし、新十津川を含む多くの道内農業地域は昭和30年をピークに人口減少に直面します。この急激な変動に着目しつつ、郷土史研究会は各種調査と研究をしています。

活動内容

埋れた歴史を掘り起こして、記録することをメインに活動しています。

- ・昭和30年代を中心とした、生活様式や文化様式などをアンケート調査し、当時の写真と共に記録する。
- ・石狩川の河川改修によって、移転を余儀なくされた花月地区の地図作成
- ・徴兵によって新十津川から旭川、満州、台湾と渡り歩いた兵士の足跡調査
- ・戦後開拓の内容調査
- ・小中学校での語り部

会員から一言

昔話に花を咲かせて、楽しく語り合っています。
当たり前であったと思っていたことが、現在から見ると大きく変化している。この変化を調べることが面白いです。

役場に入った時に作成した花月地区の地図をもう一度、聞き取り調査をして作り直しました。
石狩川の河川改修は、大きな影響を残しました。

新十津川出身の兵士の足跡調査で台湾高雄を訪問した際には、郷土史が世界史につながることを感じました。

会員募集

郷土史研究会は、新規会員を募集しています。

年会費 1000円

活動日時 随時

活動場所 ゆめりあ

会長 佐川 純

